

本書において、誤記がございましたのでお詫びの上、訂正させていただきます。

頁・番号等	正	誤
<p>36 頁 解説 8 荷造り 縦方向の層数 n の算出式 (分子「W」⇒「h」)</p>	<p>ドラムは原則金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。</p> $L=N \cdot n \cdot \pi \{d + \beta \cdot n \cdot \delta + m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ <p>ただし $N = \frac{W}{\delta + m}$ $n = \frac{W}{\beta (\delta + m)}$ $h = \frac{D - d - 2g}{2}$</p> <p>ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m) N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨) n：縦方向の層数 (小数点以下切捨) h：巻かれたケーブルのみかけの高さ (mm) δ：標準ケーブルの外径 (mm) m：ケーブル外径に対する余裕 (mm)</p> <p style="padding-left: 40px;">25 < δ ≤ 50 の場合 m=1.0 (mm) 50 < δ ≤ 75 の場合 m=1.5 (mm) δ > 75 の場合 m=2.0 (mm)</p> <p>D：ドラムつば径 (mm) d：ドラム胴径 (mm) W：ドラム内幅 (mm) g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。) β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>	<p>ドラムは原則金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。</p> $L=N \cdot n \cdot \pi \{d + \beta \cdot n \cdot \delta + m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ <p>ただし $N = \frac{W}{\delta + m}$ $n = \frac{h}{\beta (\delta + m)}$ $h = \frac{D - d - 2g}{2}$</p> <p>ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m) N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨) n：縦方向の層数 (小数点以下切捨) h：巻かれたケーブルのみかけの高さ (mm) δ：標準ケーブルの外径 (mm) m：ケーブル外径に対する余裕 (mm)</p> <p style="padding-left: 40px;">25 < δ ≤ 50 の場合 m=1.0 (mm) 50 < δ ≤ 75 の場合 m=1.5 (mm) δ > 75 の場合 m=2.0 (mm)</p> <p>D：ドラムつば径 (mm) d：ドラム胴径 (mm) W：ドラム内幅 (mm) g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。) β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>